



留学案内



Burnside
High School



バーンサイド高校へ ようこそ。 心より歓迎いたします。

バーンサイド高校は、優秀な実績と高い評価を持つ学校です。本校は、すべてにおいて生徒を中心に置き、学習のあらゆる面で豊富な機会を提供できるよう尽力しています。

本校は、ニュージーランド最大規模の学校の一つとして、非常に幅広い学習科目の選択肢と様々な機会を備えた世界トップクラスの教育を提供しながら、本校独自のディビジョン制（分割構成制）を採用しているため、少人数の仲間という温かさや励ましの雰囲気があります。

バーンサイド高校の生徒は毎年NCEA（全国統一高校教育認定資格）で、ニュージーランドでトップクラスの成績を誇っています。また、本校は地元大会や地区大会、国内・国際コンクールで奨学金獲得者を常に輩出しています。本校職員は自分自身を高い水準に保ち、担当する生徒に対しても高い期待を持っています。

バーンサイド高校では、現代の変化する世界に対応できる、豊かで自信に満ちた若者の育成に努めています。本校には、生徒一人ひとりが意欲的に取り組み、それぞれの目標を達成するまで諦めないという校風があります。本校は、毎日すべての生徒がすべての授業で、最高の教育を受ける価値があると信じており、教職員はその期待に応えられるよう努力しています。

バーンサイド高校は活気に満ちあふれた意欲的な学校です。成功には様々なかたちがあり、そのいずれにも価値があることを本校は知っています。学業で輝く生徒もいれば、スポーツや芸術の分野で輝く生徒もいます。本校は幅広くバランスの取れた教育を提供することに重点



を置いており、これにより生徒が自分の情熱を注ぎ、それを発見してそれに従い、あらゆる分野での成功体験ができるようにしています。

優れた学問的教育を提供することは本校の主要な教育事業ですが、これと同時に、地域社会でも国際的な舞台でも活躍できる強い人間を育成する、価値観を軸にした教育にも力を注いでいます。バーンサイド高校の卒業生は、地域社会の一員としての自覚と奉仕の精神を養い、社会的・文化的に多様な人々と関わり、共に働く能力を身につけます。

本校は、地域や世界中の保護者の皆様から2,600名以上の青少年のケアと教育を毎日託されていることを誇りに思います。家庭と学校との密接な連携が生徒の成功に大きく貢献すると本校は考えており、家庭との協力により、生徒が将来の進路を本校で見出せることを楽しみにしています。

Scott Haines
Tumuaki | 校長

進路を見出す

数多くのチャンス、つながり、そして優れた者が集まるバーンサイド高校で学習の旅に出発しましょう。自分の居場所を見つけ、才能を育み、待ち受ける無限の可能性を探求しましょう。自分の進む道を本校で見つけましょう。

本校生徒と教職員は、敷地内に建つティ・コウカのワイルア（精霊）に導かれています。これは歴史的に、マオリや初期のヨーロッパ人旅行者により、道しるべとして使われていたもので、現在は本校生徒がそれぞれ進んでいく道を象徴しています。

バーンサイド高校では、生徒の潜在的能力を信じています。本校の献身的な教職員は、生徒一人ひとりが自分の居場所を見つけられるよう、支援し、励まし、成功に必要な手段を提供することに全力を尽くしています。科学、芸術、テクノロジー、スポーツ、社会奉仕など、情熱がなんでもあれ、それを探求し、卓越するための多様なプログラムをバーンサイド高校は提供しています。

学習と達成に対する志や情熱を共に分かち合う仲間の中で、自分の居場所を見つけましょう。ここはあなたがまさに帰属し、評価され、成長できるコミュニティです。バーンサイド高校では、生徒が互いにつながり、成長し、学び合うことができるよう、生徒相互の尊重、包摂性、協力を重んじる温かい学校環境を育んでいます。本校の活気あるコミュニティは、帰属意識と一体感を育みながら、生徒がそれぞれの個性を受け入れ合うことを奨励しています。

自分の能力の最大限を発揮するための旅が始まるバーンサイド高校で、自分の進む道を見つけましょう。



バーンサイド高校の価値観

本校はこれらの価値観により導かれる

互いを尊重する
Manaakitanga



誇りを持つ
Mana



卓越性を探求する
Rangatiratanga



クライストチャーチに 留学する理由



\$

クライストチャーチはハミルトン、オークランド、ウェリントン、プリズベン、メルボルン、シドニー、ニューカッスルより物価が安い
ため経済的



アクティビティ

誰もが楽しめる - スキー、スノーボード、バンジージャンプ、ロッククライミング、マウンテンバイク、川下り、カヤック、サーフィン、安全なビーチで海水浴、ゴルフ、クジラウォッチング、イルカと泳ぐ、庭園散策、活気ある芸術や文化を楽しむ



8,722

直近12ヶ月間の新規クライストチャーチ居住者数は8,722人



2nd

ニュージーランドで2番目に大きな都市



1000+

箇所以上の公園 - その%はクライストチャーチ市内の郊外に位置する



14

のスキー場 - 車で2時間以内に9箇所、3時間以内に14箇所あるスキー・スノーボード



2413

オークランド、ウェリントン、ダニーデン、クイーンズタウンより長い年間日照時間2413時間



5分

国際空港からバーンサイド高校まで車で5分



1 in 5

クライストチャーチ市在住の5人に1人が海外出生者

学校周辺



① クライストチャーチ空港

② ラスリー・ゴルフコース

③ バーンサイド高校

④ ジェリー・パーク・レクリエーション&スポーツセンター

⑤ コプナム・インターメディアイト・スクール

⑥ カンタベリー大学

丁寧にデザインされた 進学経路

世界中どこに行っても競争力を持ち、成功できるスキルを備えた卒業生を、輩出することが実証されているニュージーランドでは、入念に設計された教育の進路を、歩むことができます。

幼児教育は3歳から始まります。義務教育は、小学校に入学する5歳から始まります。

ここから13年間にわたるニュージーランドの教育制度が始まります。1年生から8年生（5歳から12歳）までがプライマリースクール（小学校）となりますが、7年生と8年生をインターメディアイトスクール（中学校）で学ぶ児童もいます。

ハイスクールもしくはカレッジと呼ばれる中等教育学校（高校）では、9年生から13年生（13歳から18歳まで）まで学びます。

中等教育修了後は、大学、技術専門学校、私立職業訓練校、ワナガ（マオリ文化を基盤とする教育機関）などに進学する選択肢があります。

初等教育（小学校）では識字能力と計算能力の基礎力を築き、幅広くバランスの取れたカリキュラムを導入しています。

中等教育（中学・高校）は教科学習に重点を置き、学習が進むにつれて専門的な知識を学ぶ機会が増えます。初等教育・中等教育ともに、児童生徒に焦点を当てた学習と自立的思考が奨励されています。

この表を使って、自分の年齢がニュージーランドの教育制度でどの学年にあたるか確認してください。

大体の年齢		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
ニュージーランドの学校制度	学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
	学校の種類	プライマリー（小学校）						インタメディアイト（中学校および小学校7-8年生）		セカンダリー（中学・高校）					
	ニュージーランドの資格	ニュージーランドのカリキュラム 全国統一標準テスト									NCEA レベル1	NCEA レベル2	NCEA レベル3		



大学進学

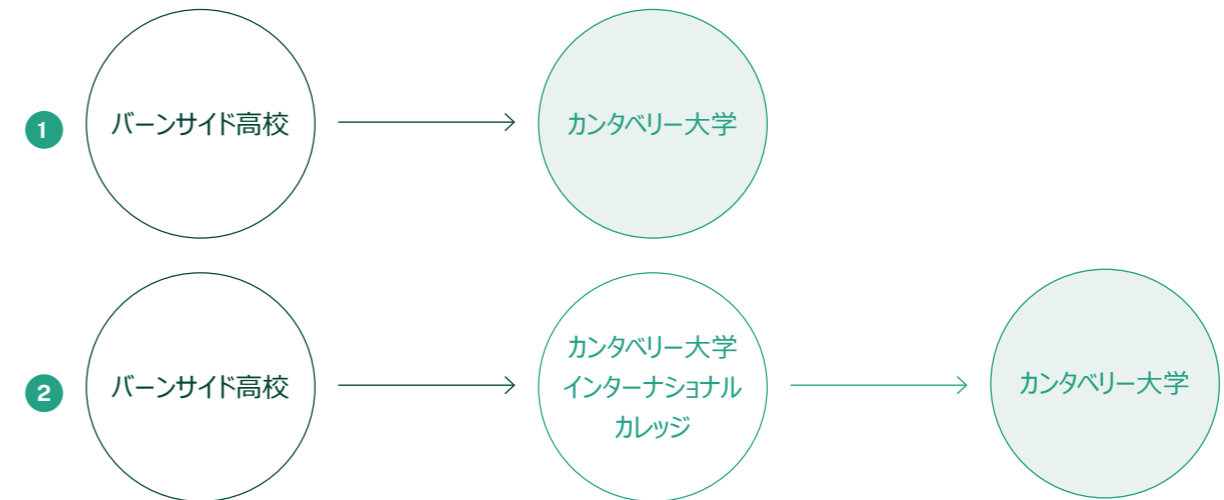
カンタベリー大学インターナショナル・カレッジ（UCIC）では、留学生がカンタベリー大学の工学士号、理学士号、商学士号を取得するための代替経路が用意されています。

進学を希望する生徒は、高校での最終学年に大学入学要件（UE）を取得する必要があります。^①

UEを取得できない高校生には、別の選択肢もあります。^②

バーンサイド高校は、カンタベリー大学（UC）からわずか2kmの距離に位置しており、高等教育機関への進学をより円滑で身近なものにしています。

UCの様々な学部への進学については、バーンサイド高校のインターナショナル・デパートメントまでお問い合わせください：international@burnside.school.nz





現在提供されている科目

9年生
必修科目 英語またはESOL（英語が母国語でない生徒のための英語） 数学 保健体育 科学 社会
選択科目 美術 ビジュアルアート ダンス 演劇 音楽 総合技術 デジタル技術に加え1科目を下記から選択： 電子技術 食品技術 繊維技術 言語 - 半年または1年 中国語 フランス語 ドイツ語 日本語 スペイン語 マオリ語

10年生
必修科目 英語またはESOL 数学 保健体育 科学 社会
選択科目 1学年につき3科目を下記から選択： 美術 ビジュアルアート ダンス 演劇 音楽 技術 デジタル技術 電子技術 DVC（グラフィック） マルチマテリアルテクノロジー 繊維技術 食品技術 言語 中国語 フランス語 ドイツ語 日本語 スペイン語 マオリ語 または BEA（ビジネス、経済、会計学） 環境科学

11年生
必修科目 英語またはESOL 数学 科学
これらに加え3科目を以下から選択 アート - デジタル アート - ビジュアル 中国語 古典 商学 建築（建築術） ダンス DT - エレクトロニクス、メカトロニクス、ロボット工学 DT - インタラクティブ・ゲーム・デザイン DT - プロダクトデザインおよびデジタルデザイン DT - ソフトウェア工学およびコンピュータサイエンス 実践的コンピューティング 演劇 DVC（グラフィック） 職業スキル エンジニアリング 食品および栄養 フランス語 地理 ドイツ語 保健 歴史 園芸 ホスピタリティ - 食品技術 ホスピタリティ - 食品学 ホスピタリティ - NZサーティフィケートYear 1 日本語 音楽または現代音楽 音楽 - ケンブリッジ 体育 スペイン語 マオリ語 繊維技術 トラベル&ツーリズム

12年生
必修科目 英語またはESOL
さらに下記から5科目を選択 会計 美術-デザイン 美術-歴史 美術-絵画 美術-写真 美術-版画・彫刻 生物 ビジネス 化学 中国語 古典 建築（建築術） ダンス DT - エレクトロニクス、メカトロニクス、ロボット工学 DT - インタラクティブ・ゲーム・デザイン DT - プロダクト&デジタルデザイン DT - ソフトウェア・エンジニアリング&コンピュータサイエンス 実践的コンピューティング 演劇 DVC（グラフィック） 幼児教育 職業スキル エンジニアリング 経済 食品と栄養 フランス語 地理 ドイツ語 保健 歴史 ホスピタリティ - 食品技術 ホスピタリティ - 食品学 ホスピタリティ - NZサーティフィケートYear 2 日本語 法学 数学 メディア学 音楽-パフォーマンス 音楽 - 現代 音楽 - テクノロジー 音楽 - ケンブリッジ 野外活動 体育 物理 科学一般 スペイン語 スポーツ・リーダーシップ&パフォーマンス 自主学習 マオリ語 繊維技術 ツーリズム トラベル&ツーリズムYear 2

13年生
必修科目 自主学習
さらに下記から5科目選択 会計* アート - デザイン 美術 - 歴史* アート - 絵画* アート - 写真* 美術 - 版画* 美術 - 彫刻* 生物* ビジネス* 建築（建築術） 化学* 中国語* DT - エレクトロニクス、メカトロニクス、ロボット工学* DT - インタラクティブ・ゲーム・デザイン* DT - プロダクト&デジタルデザイン* DT - ソフトウェア工学&コンピュータサイエンス* 実践的コンピューティング 古典* ダンス* 演劇* DVC（グラフィック）* 幼児教育 経済* 職業スキル エンジニアリング* 英語 - ビジュアル* 英語 - 上級 英語 - コンテンポラリー* ESOL 食品と栄養* フランス語* 地理* ドイツ語* 保健* 歴史* ホスピタリティ - 調理デザイン・食品技術* ホスピタリティ - 料理・コーヒー ホスピタリティ - 食品学* 日本語* 法学 歴史* 数学 - 微積分* 数学 - 統計* 数学 - ケンブリッジ* メディア学* マルチマテリアルテクノロジー - 上級* 音楽 - 演奏* 音楽 - 指揮* 音楽 - 技術* 野外活動 体育* 物理* 科学一般* スペイン語* スポーツ・リーダーシップ&パフォーマンス マオリ語* 繊維技術* ツーリズム

*大学入学要件認定科目を意味する。大学進学を希望する13年生は、認定科目を4科目選択すること。
11年生、12年生、13年生 - DTはデジタル技術
すべてのコースは校長の承認が必要です。
全生徒がコースカウンセリングを利用できます。
この一覧は印刷時において正確を期しておりますが、コースは変更される場合があります。

記載されているすべての科目の詳細については、関連する学年のコースをオンラインにてご参照ください。
burnside.schoolpoint.co.nz/courses/learning_areas

教育界のリーダー

バーンサイド高校は優れた勉学の中心です。

これは、生徒および教職員に対する高い期待、質の高い教育実践の重視、そして数多くの生徒の優れた成績に反映されています。

約2,600名の生徒が在籍する大規模な学校であるため、広範囲におよぶ多様な専門的なカリキュラムを提供することができます。



数学

バーンサイド高校の数学科では、NCEAとケンブリッジの両方のシステムを採用しています。

才能ある上級生は、追加のオプションのケンブリッジ数学(IGCSE)の履修ができます。

デバイス各自持参

バーンサイド高校では、全生徒にノートパソコンの利用を義務付けています。ノートパソコンは授業や宿題に日常的に使用されます。ほとんどの授業課題の提出も電子的に行われるため、デバイスの所持は不可欠です。

ESOL

下級生強化プログラム

13歳から15歳の生徒対象。毎週の時間割は、同じクラスグループの主要科目で構成されています：

- 英語-8時間
- 数学-3.5時間
- 科学-3.5時間
- 体育-2.5時間

上級生強化プログラム

16歳または17歳の生徒対象。これらの年齢の高い生徒は、全国統一試験に備えるためのアカデミックなコースワークに焦点を置いています。

- 英語-13時間
- 科学-4時間
- 数学-4時間

生徒はまた、数学の本科クラスでニュージーランド人生徒と一緒に学び、さらに選択クラスを1つ履修します。



音楽プログラム

ニュージーランドでトップのパフォーマンス・ミュージック・スクールにおけるインターナショナル・ミュージック・プログラム (IMP)

国際的に高い評価を得ている交響楽団の一員になる。

全国一位

- 室内音楽
- 合唱
- ジャズ

生徒に提供される機会

- 専門教師による個別指導
- 専門科目-学課、パフォーマンス
- コンテンポラリー、指揮、ミュージックテクノロジー
- ミュージックトリップ、ミュージックツアー、コンクール、ミュージックキャンプ
- 演奏する多数の機会

卒業生が授与された全額支給型の奨学金

- ヨン・シュー・ト音楽院 (シンガポール)
- バークリー音楽大学 (米国)
- ロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージック (ロンドン)
- シドニー音楽院 (オーストラリア)
- ニュージーランド・スクール・オブ・ミュージック (ニュージーランド)

スペシャリスト・ミュージック・プログラム (SMP)

SMP は、音楽家としての経験と才能が豊富な生徒を対象にしています。これらの生徒は、高校在学中を通して音楽に重点を置きます。このプログラムはニュージーランド国内でも他に類を見ません。コースの参加者はオーディションによって選抜され、すべての楽器と声楽が対象となります。



音楽

- オーロラ・ヴォイシズ (9・10年生)
- ベルカント (11~13年生)
- ビッグバンド
- 室内音楽
- 室内音楽アンサンブル
- ファンク・バンド
- ジャズ・コンボ
- ジュニア コンサートバンド
- ジュニア コンテンポラリーバンド
- ジュニア ギターグループ
- ジュニア ジャズバンド
- ジュニア パーカッション・アンサンブル
- ジュニア パフォーマンス合唱団
- ジュニア ロックバンド
- ジュニア 弦楽オーケストラ
- マグナ・ヴォーチェ合唱団 (11~13年生)
- オーケストラ
- シニア コンテンポラリーバンド
- シンフォニック・バンド



クリエイティブ・アート

クリエイティブ・アートは単なる課外活動だけではありません。これらは本校のカリキュラムにとって不可欠であり、革新、批判的思考、協調を育みます。

ビジュアル・アート

バーンサイド高校のビジュアル・アート学科は、ビジュアル・アート教育においてニュージーランドでも有数の学校として知られています。トップ・スカラー賞と併せて、毎年数多くの生徒がスカラーシップ賞を受賞しており、高水準の成功を収めています。

ビジュアル・アート学科は規模が大きく活気に満ちており、彫刻、写真、版画、絵画、デザイン、美術史の5つの各実技分野に専門クラスを設けています。各分野は、ニュージーランドの美術教育をリードするスペシャリストによって教えられます。ゲスト・アーティストが、彼らの知識を共有するために、頻繁に訪れます。メルボルン、パリ、フィレンツェ、ベニス、ローマなど、世界の芸術の中心地を訪れる海外美術旅行に参加する機会が与えられます。

写真撮影を希望する生徒は、デジタル一眼レフカメラと、大容量の外付けハードディスクを持参する必要があります。デザインを履修する生徒は、適切な性能のノートパソコンを用意する必要があります。ほとんどの生徒はマックを好むようですが、マイクロソフトパソコンの利用者もいます。

「興味、情熱、好奇心が何であっても、バーンサイド高校には創造性を制限するものではありません。」

Linh Nguyen, 13年生



ダンス

ダンスの科目を履修すると、動きの体感、創造性と表現力の探求、パフォーマンスの機会を得ることができます。

様々なスタイルのダンスを提供します。コンテンポラリー、ヒップホップ、ジャズ、ミュージカルシアター、文化舞踊など数種類あります。この科目は体を動かす科目です。典型的な授業では、ウォームアップとストレッチ、振付の学習、グループワーク、音楽に合わせたリハーサルの時間があります。

ダンスは共同作業科目であり、これはデュエット、トリオ、または大人数のグループで他の人と協力しながら取り組むことを意味します。また、様々なスタイル、振付家、ダンスカンパニーの歴史や特徴、ダンスの振付や構成の方法、効果的なリハーサルやパフォーマンスの技術についても学びます。

シニア・ドラマ・プロダクション

バーンサイド高校の生徒は、650席のプロ仕様の舞台芸術劇場を持つ、非常に恵まれた環境にあります。毎年本校の地域社会は、本校生徒の類まれなる才能に触れる機会に恵まれます。



スポーツと クラブ



バーンサイド高校は、学業のみならずスポーツや課外活動においても並外れた実績があります。毎年多数の生徒が、それぞれの専門分野でニュージーランド代表選手に選ばれています。ニュージーランド代表選手として活躍しているスポーツには、バレーボール、ビーチバレーボール、体操、ダイビング、自転車トラック競技、フェンシング、ゴルフ、バスケットボール、アイスホッケー、アーチェリー、セーリングなどがあります。

スポーツ

夏季

陸上競技
カヌー・ポロ
クリケット・クラブ
フロアボール
フットサル
室内ネットボール
キ・オ・ラヒ（マオリの伝統球技）
コーフボール
ローンボウルズ
マウンテンバイク
ローイング
ソフトボール
サーフィン
水泳
テニス
タッチラグビー
バレーボール
水球

冬季

バドミントン
バスケットボール
クロスカントリー
サイクリング
体操競技（体操・トランポリンの単発競技）
フェンシング
サッカー
ホッケー
ネットボール
ロードレース
ラグビー
スノースポーツ
スカッシュ
卓球

通年

アーチェリー
馬術
ゴルフ
オリエンテーリング
ピストル射撃
ワカ・アマ（アウトリガークヌー）

クラブ

アムネスティ・インターナショナル
アートフィルムクラブ
BHSロボット工学
ブッククラブ
チェス
クライミングクラブ
コンピュータ・ハードウェア・クラブ
デイバート・クラブ
エジンバラ公国際賞
環境グループ
エヴォロシティ
ダンジョンズ&ドラゴンズ
未来問題解決
ファッションショー
映画クラブ
フェミニスト・グループ
宿題クラブ
リーグ・オブ・レジェンド
LGBT+クラブ
文学インサイト・クラブ
オーバーウォッチ・クラブ
哲学クラブ

スラムポエトリー

スピークアップ
いじめ反対
冒険精神
テッククルー
ワールド・ビジョン40時間絶食
ファナウクラブ



レクリエーション施設

クライミング・ジム

近年、2つの体育館が改修され、クライミングウォールが拡張されました。学校にはインドア・クライミング・グループがあり、学校や地域のクライミング施設で活動しています。

16歳以上の生徒は、地元にあるカンタベリー大学レクリエーションセンターの会員になることができます。登録すると、大学のクライミングクラブに参加することができます。会員は毎週この施設でクライミングをしています。

追加の選択肢として、市内にあるクライミング施設の会員になることもできます。

スイミングプール

本校のキャンパスから約500メートルのところに、ジェリーパーク・レクリエーション&スポーツセンターがあります。ここは市が管理する施設で、本校の生徒は誰でも利用することができます。少額の会員料金がかります。競技水泳をする生徒は、技術レベルと在学期間がクラブの条件に適合すれば、強化チームに参加することができます。

フィットネスと水泳の詳細については、下記の両ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.ccc.govt.nz/rec-and-sport/rec-and-sport-centres/jelliepark>
<https://jasi.swimming.org.nz>



野外活動の機会

野外活動

留学生やキウイの生徒に大変人気の科目です。このコースでは以下のアクティビティを学びます：

- ホワイトウォーター・カヤック
- マウンテンバイク
- トランピング
- オリエンテーリング
- 応急手当
- ロッククライミング

カヤックのトレーニングの初期段階では、学校のプールを使用します。野外活動ではプロのインストラクターが指導します。別途費用がかかります。

留学生スキー・スノーボードクラブ

大学入学要件（UE）が目的ではなく、語学や文化的な目的で、ニュージーランドに留学している生徒は、スキー＆スノーボードクラブへの参加を希望することができます。クラブのメンバーは、天候や生徒の需要が理想的な状況であれば、3学期間中、週に1回程度、地元のカンタベリースキー場に行きます。平日のスキーやスノーボードでは、開けた地形と混雑していないゲレンデを楽しむことができます。週末のスキー旅行や、学校の競技スキーチームに参加する機会のオプションもあります。



11月プログラム

毎年ほぼすべての上級生が、11月にNCEAの外部試験を受けます。NCEAを正式に受験しない生徒のために、バーンサイド高校では代替プログラムを用意しています。

日程は変更される場合がありますが、ほとんどの年に以下のアクティビティが含まれます。

- 南島内の1週間の旅行
- 第2週と第3週は日帰り旅行

これらの週には通常、以下のアクティビティが含まれます。

- ハイワイヤーコース
- ペイントボール
- サーフスクール
- クッキング・デー

交通費、宿泊費、入場料はすべて学校が負担します（生徒は無料）。



ホームステイ家庭

ほとんどの留学生は、地域のホームステイ家庭に滞在します。国際部のホームステイ・マネージャーは、各生徒に最も適した家庭を手配するよう努めています。生徒は通常、徒歩、自転車、またはバスで通学します。ホームステイ料金は学校に直接支払われ、学校からホームステイ提供者に毎週振り込まれます。

ホームステイでは、家具付きの個室と1日3食の食事が提供されます。

滞在するホームステイ家庭で、家族の一員として、本当の家族のように生活できることが本校の願いです。





Burnside High School

151 Greers Road
PO Box 29 677
Christchurch 8440

+64 3 358 8383
admin@burnside.school.nz

www.burnside.school.nz